

警察庁によると、2024年上半期の特殊詐欺の認知件数は8917件で前年同期比540件減少、被害額は227億8000万円。前年同期比29億7000万円増加しました。

(暫定値)。被害全体の68%

を、東京、埼玉、千葉、神奈川、愛知、大阪及び兵庫の7都府県が占めています。手口は、架空料金を請求詐欺、オレオレ詐欺、還付金詐欺、預貯金詐欺、キャッシングカ

## 特殊詐欺の発生状況

1ド詐欺盗の順で多く、被害者(法人被害を除く)の70・8%が65歳以上の高齢者です。また、被害金交付形態別の割合は現金手交型、キャッシングカード手交型・窃取

型、電子マネー型は減少、一方、振り込み型は増

加しています。被害を防ぐには、知らない番号の電話には出ないことが肝要で、官民一体となって対策を講じていきましよう。

防犯一口メモ